

【KOA株式会社】 脱炭素への取組みによる 5つの主体との信頼の構築

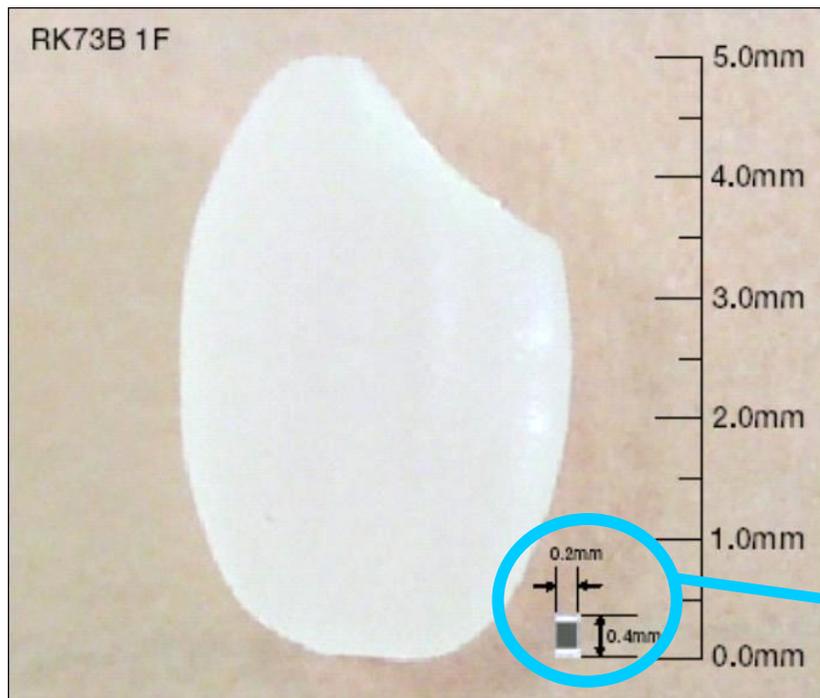
2022年11月5日
南信州環境メッセ2022



KOA株式会社

経営管理イニシアティブ
CSR推進センター
プロフィットマネージャー
吉川 琢郎

小さな抵抗器



RK73B1F
0.4×0.2mm

0.25×0.125mm

究極の超小型
“0.25×0.125mm”登場！

長野県内に多数の拠点

管理・開発拠点

- 本社（アースウイング）
- West Wing
- 伊那事業所
- ハローウイング



生産拠点

上伊那ビジネスフィールド

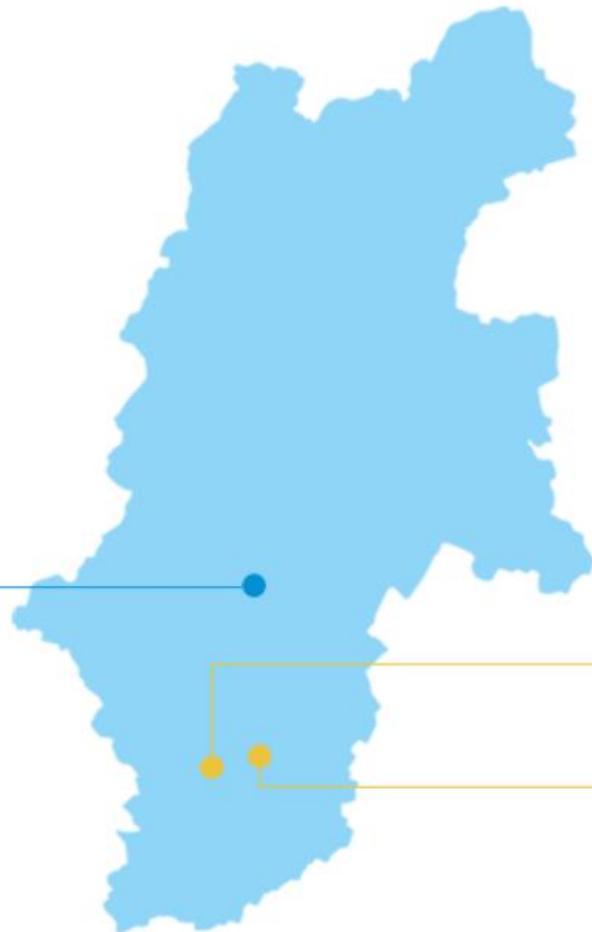
- イーストウイング
- 箕輪工場
- 西山工場



生産拠点

箕輪ビジネスフィールド

- MINOWAウイング
- 中央工場



興亜エレクトロニクス株式会社

- 新野工場
- 千代工場
- 泰阜工場
- 早稲田工場
- 南信濃工場

真田KOA株式会社

- 真田の郷

生産拠点

下伊那ビジネスフィールド

- 七久里の杜
- 匠の里



KOAを支えていただいている「5つの主体」

創業の精神

創業者 向山 一人



■ 農耕一体

疲弊していく農村で、お百姓がお百姓として家族そろって暮らせる故郷を取り戻すため、新たな産業を興した

■ 伊那谷に太陽を

伊那谷の各地に生産拠点をづくり、人が豊かに暮らす社会基盤・コミュニティとしての「会社」の役割を果たす

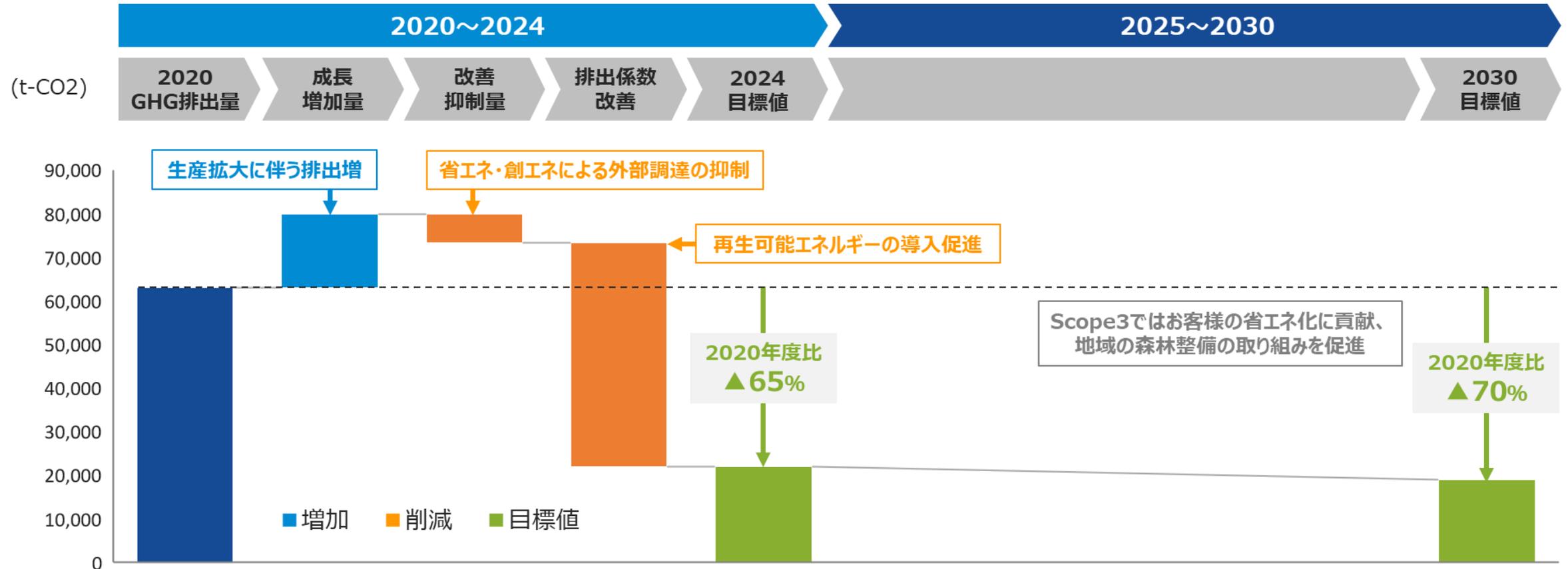


2030ビジョン・中期経営計画／GHG排出量の削減

2024年度までにGHG排出量(Scope1~2)を2020年比65%削減、
2030年度までに70%削減する。

提供価値

地球との共生



地球温暖化対策

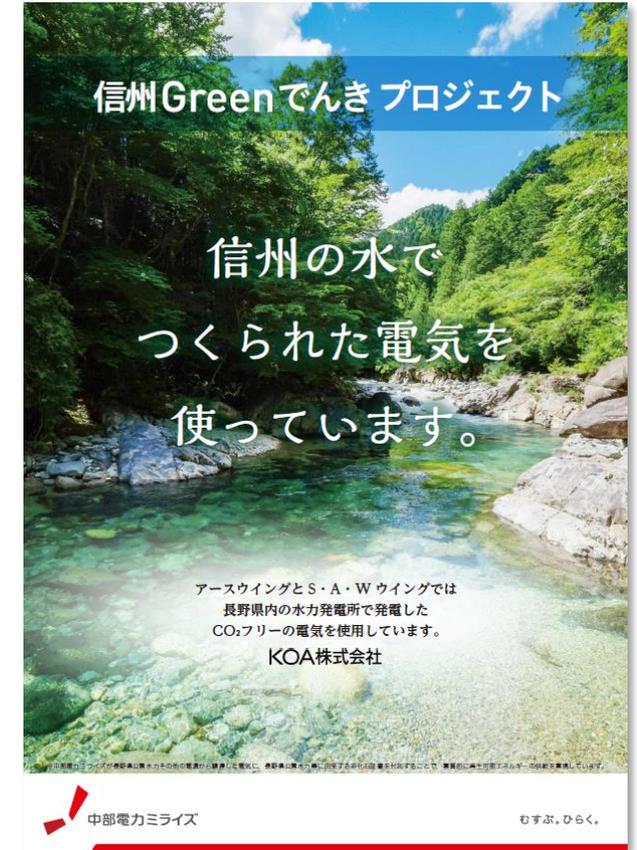
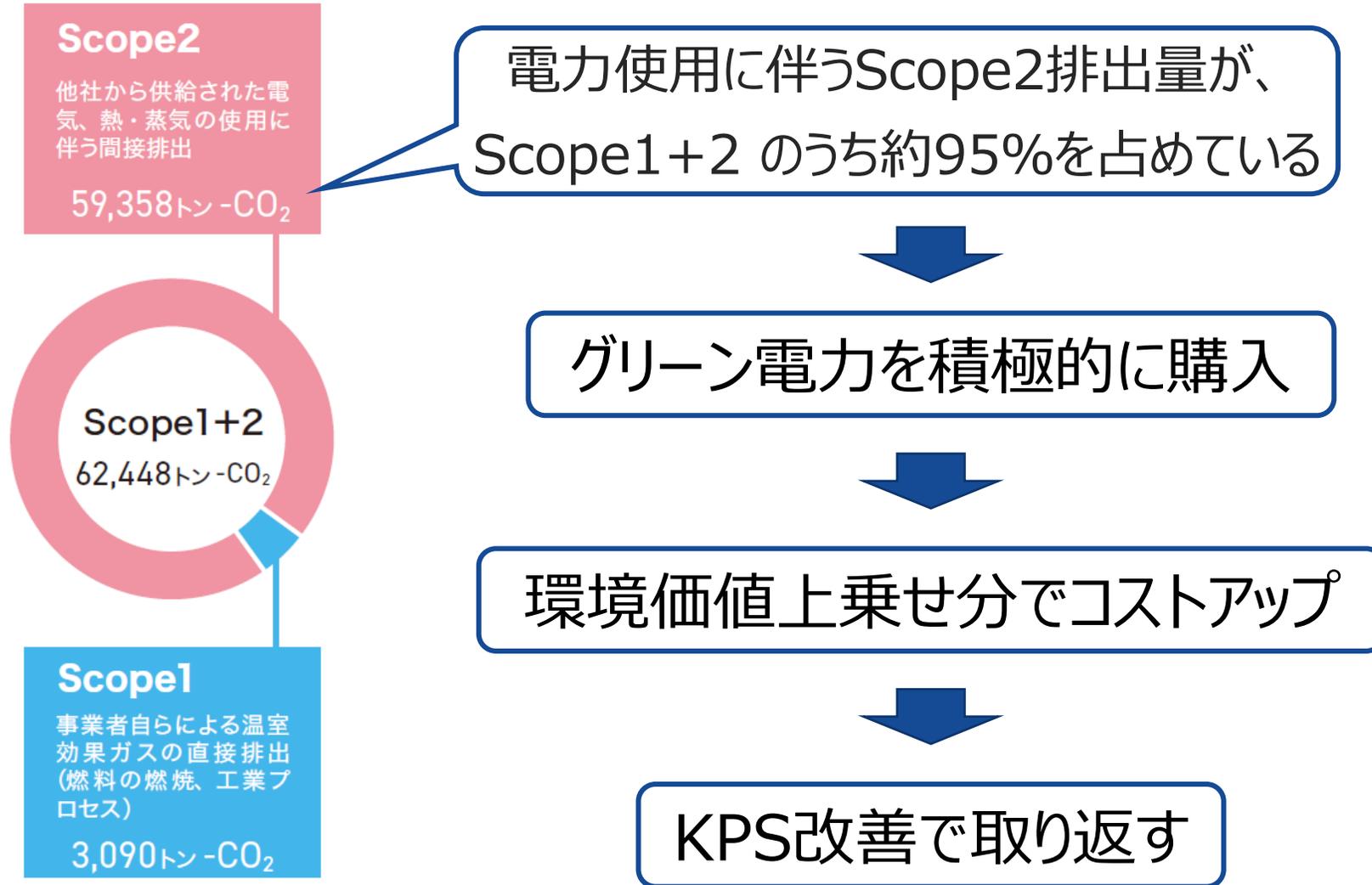
13 気候変動に
具体的な対策を



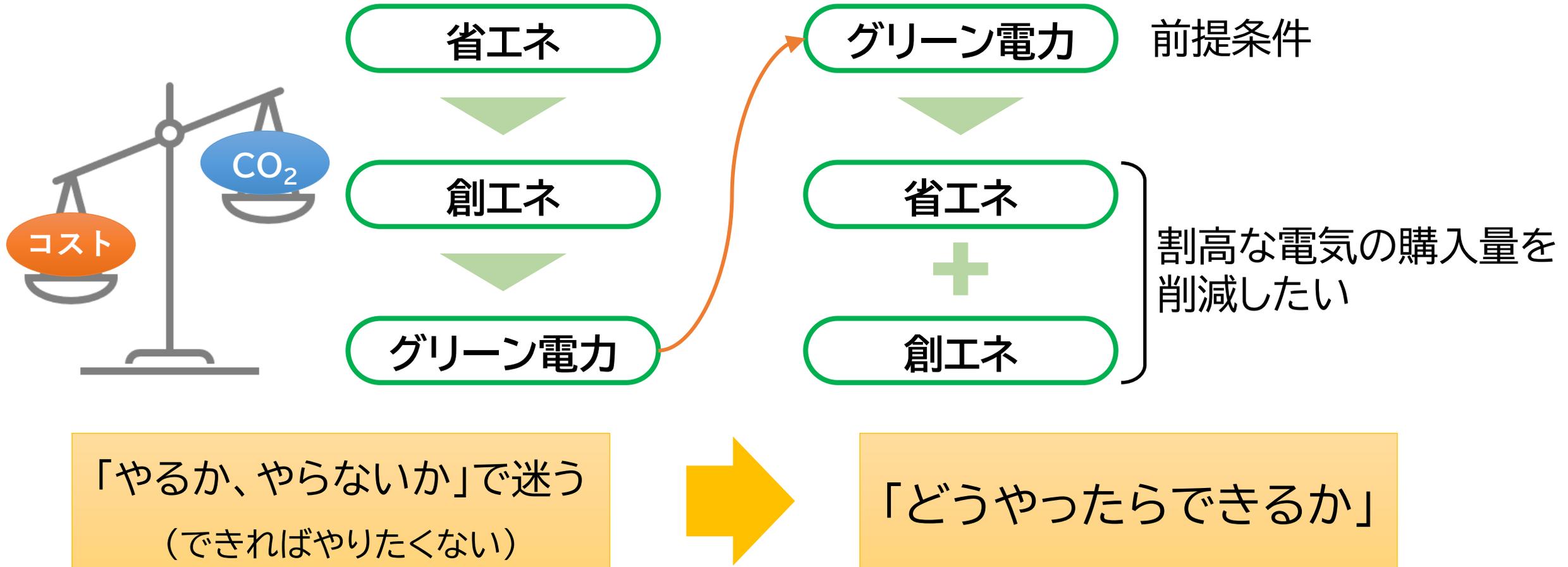
KOAグループ CO2排出量(2020年度実績)



グリーン電力の積極購入を方針に



モードが変わった



事業所責任者との対話

利益責任がある。原価への影響には慎重にならざるをえない。

瞬停への対応には悩まされている。将来的に水素の活用で自家発電を実現できないか。

ものづくりを内製化することで、自分たちの力で改善を進められるようになったケースがある。エネルギーでも同じことができないか。

現状の製法やそれに合わせた材料を前提にしている大きな変化は起こせない。

KOAで働く社員や、これから入社してくれる人に対して、脱炭素の取組みはアピールのひとつになる。

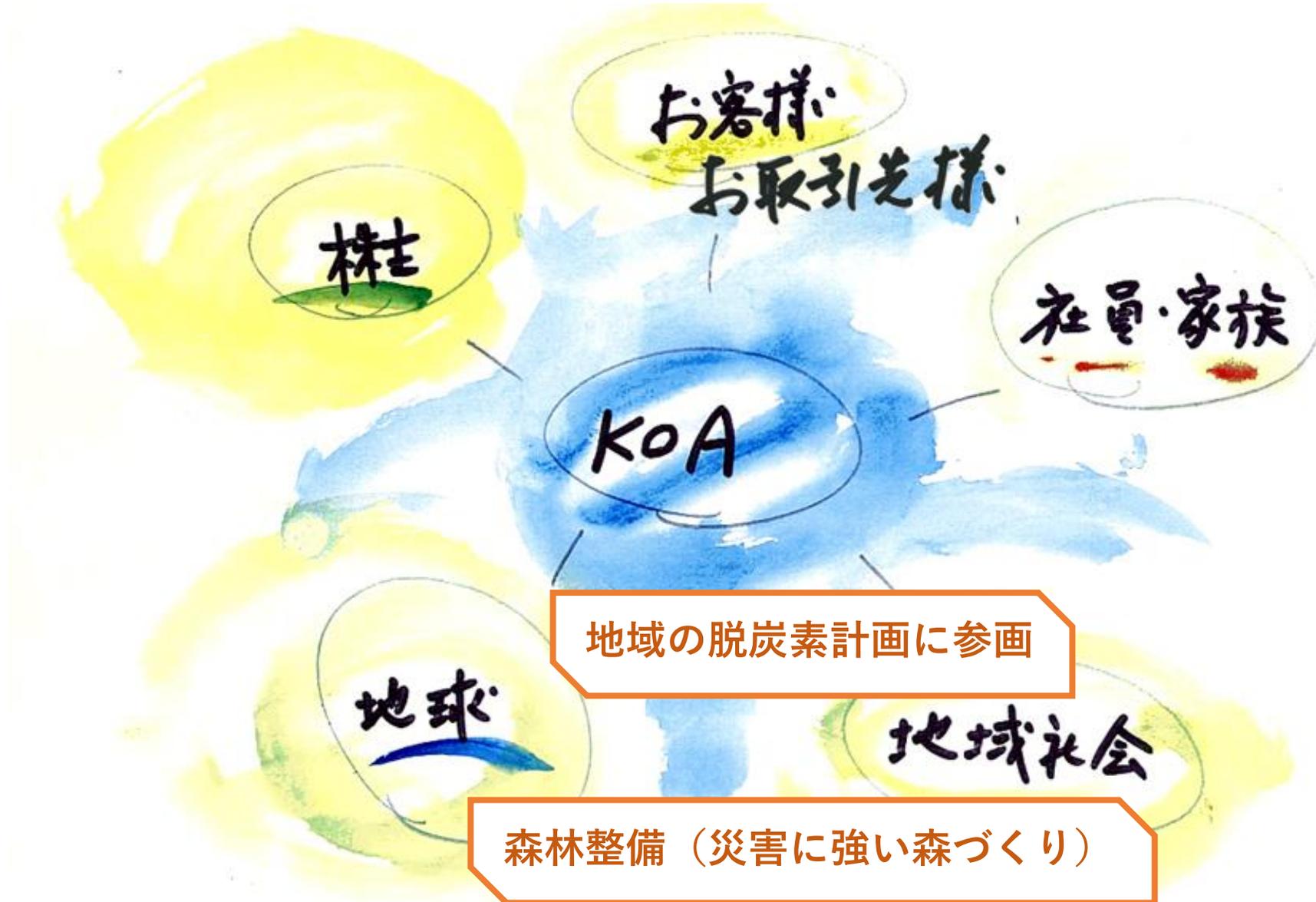
信州Greenでんき

- 2022年2月より長野県内ほぼ全拠点に導入

電力使用に伴うCO2排出量のうち、グリーン電力の導入により削減が見込める割合

※2021年度排出量実績を基に試算

気候関連の取組みを通じた5つの主体との信頼の構築



2030ビジョン

ビジョンスローガン

Essential Parts of the World

ビジョンステートメント

私たちKOAは、
世界を支える必要不可欠な部品メーカーとなり、
豊かな社会をつくる世界の一員でありたい。
小さな部品で世界に大きな変化を起こします。

地球と調和した循環型社会を目指し、
社会課題の解決や豊かな暮らしの実現に取り組む
お客様の困りごとの本質を見極め、新しい価値を提供します。

継続的な改善、高い品質による信頼関係を礎に、
革新的な考働により未来を切り開きます。